

MEIKAI-JOE PLUS
2023
足立区立新田学園5年生

第7回 授業研究講座 「聞くこと、話すこと」
2023年7月31日

井熊ひとみ

MEIKAI-JOE プラス 2023 第7回講座

テーマ：「聞くこと・話すこと」

単元名： Unit 2 When is your birthday? (5/8 時間目)
教科書： NEW HORIZON Elementary English Course(東京書籍)
本時ねらい： 誕生日にほしいものについてくわしく伝え合おう

協議テーマ：

本時の目標を達成するための手立てについて

特に、「伝えあう活動」、「やり取りとやりとりの間の指導」を
繰り返す活動は本時のめあてを達成するために効果的であったか

研究授業のふりかえり

Greeting

Greeting : 既習事項を含めて進められている ⇒ W/UPを兼ねた「月」の歌
Chant : What do you want for your birthday ?

単元の目標 : 友だちにバースデーカードをおくり、喜んでもらうために、誕生日やほしいものなどを聴いたり答えたりして伝えあおう。

本時の目標を児童と共有する : 誕生日にほしいものについてくわしく伝え合おう

導入から

- ① 英語の世界にすぐに入れるような雰囲気づくり ⇒ W/UPの種類・Small Talkの可能性
- ② 目標を児童が理解し共有するために、担任の先生の動画を使用して考える (教材効果)
- ③ くわしく伝え合おう という事がどういう事であるのかを児童と考える
⇒ 児童の考えを (動画から聞き取れたことから) 引き出す

展開

- ① 誕生日を言って、欲しいものを尋ねあう ⇒ ペア活動
- ② 具体的にどんなものがほしいかの尋ねあいをする ⇒ ペア活動
- ③ 中間指導で言えなかったこと、練習へ ⇒ ペア活動

3つの活動から

- ① T1主導で授業の展開 ⇒ 児童が思い出す、気づく可能性のある必然ある問いかけ
- ② リアクションの示し方 ⇒ 互いに尋ねあうことに対するリアクションの可能性
- ③ 中間指導で、長い文章を繰り返し練習する ⇒ とりこぼし・不安の解消にむけて
どんな支援が必要か
- ④ 動画から見える**児童の表現したい気持ち**と、そのための**知識・技能との整合性**
- ⑤ 児童の発表をいれている ⇒ 良いモデルとしてクラス全体で共有

まとめ

- ① この単元目標「話すこと（やりとり）」に即した進行
- ② 児童に学習の目的が理解できるような指導者の導き
- ③ 児童の互いに聞き合ったり、教え合ったりする姿 関心や意欲をもった態度

提案として：

- ① 質問文を忘れてしまった、などの繰り返しの機会を与える ⇒ 定着による児童の自信
練習とは目的に支えられた活動 ⇒ **何のために練習をするのかを児童が納得**しているか。
- ② 文章が長くなると、「まるごと覚えている（状態の）」児童と、年齢からも
思考して自身の意見を持つことをふまえて、言いたいことがすぐに英語で
表現することの困難さを実感する。
それを乗り越えるための「できた」「わかった」をどれだけ作れるか（繰り返しの練習）
I want ~ の後ろをどう表現したらいいのか。（知らなければ言えない）
訊ねる側も、相手の情報を聞き出すために、どんな質問があるのか、（言えるための手段）
条件の設定などで、**言えることを増やす可能性**はあるか。
- ③ やりとり＝答え方も同時にできるようにすること
⇒相手意識をもったの聞き方と聴いた事への理解（Small Talkの活用）
自分のほしいものを**くわしく**表現できるように支援する
児童にとっての「**くわしく**」とは既習事項もふりかえりながら深める学び。
スパイラルに学ぶことの意味を指導者が意識して活動に取り入れる工夫。